

■ 斎藤寅次郎(寅二郎) 映画監督。戦時下、喜劇映画のみを製作して"寅次郎喜劇"を創造、<敗戦>後も引退まで続けた。
さいとうとらじろう
日露戦争終・1905 = 秋田県生れ。寅次郎とも。

明治天皇没・1912 = 7歳：

第一次大戦始1914 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 16歳：
水平社結成・1922 = 17歳：_松竹蒲田撮影所に入社し，
関東大震災・1923 = 18歳：_助監督時代を経て，

円本時代始・1926 = 21歳：_監督に昇進。以後，松竹，東宝，新東宝で活躍。

世界恐慌・・1929 = 24歳：_その作品はもっぱら外国ものの"いただき"とパロディに徹したナンセンスギャグにあふれたもので，
*「西部戦線異状なし」をもじった「全部精神異常あり」，

満州事変・・1931 = 26歳：_「何が彼女をさうさせたか」をもじった「何が彼女を裸にしたか」，
五一五事件・1932 = 27歳：

芥川直木賞始1935 = 30歳：*「噫無情」をもじった「噫薄情」，「父帰る」をもじった「馬帰る」，"狂気沙汰のアクションギャグ"でクライマックスを迎える不況時代の風刺喜劇「子宝騒動」(サイレント)，チャップリン的どたばた人情喜劇「この子捨てざれば」(サウンド版)，

日中戦争始・1937 = 32歳：
第二次大戦始1939 = 34歳：エンタツ・アチャコの喜劇「新婚お化け屋敷」，

日米開戦・・1941 = 36歳：

敗戦・・・1945 = 40歳：

極東裁判決・1948 = 43歳：_「誰がために鐘は鳴る」をもじった「誰がために金はある」，

朝鮮戦争始・1950 = 45歳：
独立回復・・1951 = 46歳：

TV放送始・・1953 = 48歳：*「伴淳」の「アジャパー天国」等々に至るまで，

200本以上のナンセンス喜劇をつくり，スラプスティック，とくにチャップリン映画をねたに独特の"寅次郎喜劇"を創造した。そこには，おおらかなふざけの精神が一貫しているが，_本領を発揮した時期は戦前で，戦後は量産のペースが上がり，切れ味に衰えを見せ，

美智子妃・・1959 = 54歳：
安保闘争・・1960 = 55歳：

全国総合計画1962 = 57歳：*胆嚢を患ったため，「大笑い清水港」を最後に監督を引退。

電ヶ関ビル・1968 = 63歳：

石油ショック1973 = 68歳：

晩年は，趣味のマラソンで，日本中・世界中のマラソン大会に参加し，

JALハイジャック・1977 = 72歳：

中曽根内閣・1982 = 77歳：肝硬変で_没した。

「この人どんな人」，平凡社百科事典，